

野鳥観察クイズ

鳥の渡り※1

渡り鳥と言ったら、どんな鳥が頭に浮かびますか？

おそらく、春夏にはツバメ、秋冬にはカモや白鳥などを頭に浮かべる人が多いのではないのでしょうか。

それでは、鳥は「何故」渡り※1をするのでしょうか。

「どこからどこへ」「何時」「なんのために」などを問題に答えながら考えてみましょう。

日本の野鳥は「留鳥」「漂鳥」「夏鳥」「冬鳥」の4つに分類されています。

問題1：下記の①～④までの文章に当てはまるものを上の四つの分類から選び

() に記入してください。右の図※1も参考にしてください。

①日本国内を季節によって移動する鳥。()

②秋に北の国から日本に渡って越冬し、春に北の国へ帰って繁殖をする。()

③春から初夏にかけて日本で繁殖するために南の国から渡ってきて、秋に越冬のために南の国に帰る鳥。()

④一年中、ほとんど同じ場所で生活する鳥。
夏は山や北国で繁殖し秋や冬になると平地や南の地域へ移動し冬を過ごす。()

問題2：下記の文章の()の中に「留鳥」「漂鳥」「夏鳥」「冬鳥」の4つのどれかを当てはめて記入してください。

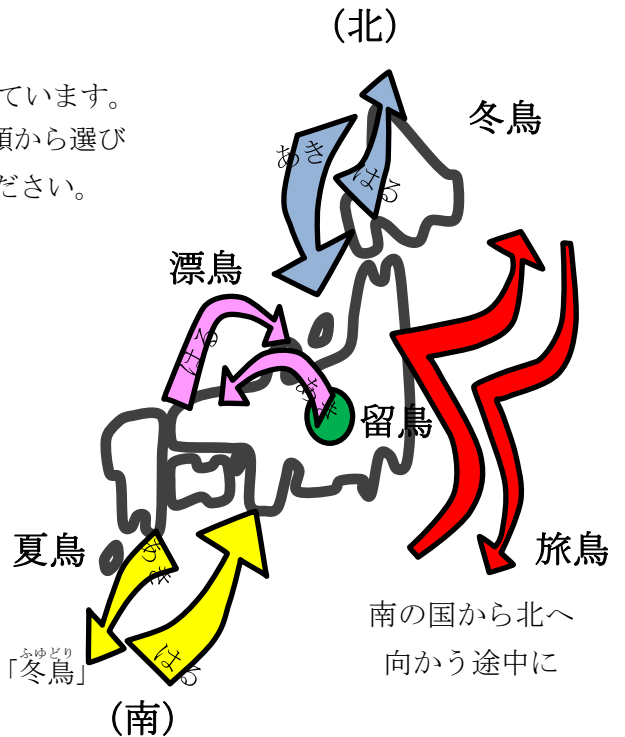
野鳥は基本的に、春には北の生まれ故郷に戻って繁殖し秋には南の越冬地へ移動します。

移動範囲が狭いと()で、広いと() ()と呼びます。

()も、繁殖期と越冬期で過ごす場所が違いますから鳥は“渡り”をするということなのです。

※1

鳥の渡り
季節に合わせて鳥が遠距離を移動すること



まとめてみると

○渡り鳥は南北方向に移動をする。

○春夏は北で子育てをし、秋冬は南で過ごす。

○「留鳥」「漂鳥」「夏鳥」「冬鳥」が季節に合わせて移動している。

それではなぜ鳥は「渡り」をするのでしょうか。

ここで、皆さんの身近な鳥で説明しましょう。

ハトやスズメは冬になっても見つけられる種子を食べています。

でもツバメは昆虫を食べるし、タカの仲間のサシバは昆虫やカエルなどを食べています。それらの食べ物は秋冬には少なくなるから、秋冬には南へ渡るのです。

- | | |
|----|----------------------------------|
| 留鳥 | シジュウカラなどカラ類
エナガ、アカゲラなどキツツキの仲間 |
| 漂鳥 | キセキレイ、カワラヒワ、メジロ、ウグイス |
| 夏鳥 | オオルリ、キビタキ、カッコウクワツグミ |
| 冬鳥 | ツグミ、シメ、アトリ |
- 季節によって見られる鳥が変わることを覚えておくとより楽しくなります。

また日本で秋冬を過ごすカモや白鳥はどうして春夏にシベリアに戻るのでしょうか。

シベリアも春夏になると動植物がたくさん出て豊富なエサがあり、競争相手も少ないため北に移動し繁殖をします。

つまり、秋冬は南、春夏は北のほうがエサが取りやすいことになります。

例えば夏鳥は初夏に昆虫が繁殖をする日本にエサを求めて渡って来ます。

春夏のシーズンは夏鳥は日本で、冬鳥はシベリア方面でそれぞれ豊富なエサを得て、繁殖し子育てをします。

**鳥が渡りをする理由は
生活しやすい環境に移動し
豊富なエサを得て、繁殖を行うためだったのです。**

問題3：夏鳥と冬鳥の繁殖地は異なります。

上記の文章を参考に下記の問題の（ ）に答えを記入してください。

- ①夏鳥の生まれ故郷は（ ） その繁殖の季節は（ ）
②冬鳥の生まれ故郷は（ ） その繁殖の季節は（ ）

スーパー渡り鳥のお話し

○オオソリハシシギ 移動距離1万1千 km
アラスカ～ニュージーランド間を飲まず食わず
そして睡眠もとらずに9日間飛び続けるのです。
睡眠中は右脳・左脳を交互に睡眠させ飛ぶそうです。



○インドガン 移動距離3～5千 km
モンゴル、チベット、中国北部～越冬地のインドへ
向かう途中平地の10%しかない酸素を使って、
追い風もなしに標高7千 mにもなるヒマラヤ山脈を
越えるのです。



○キョクアジサシ 移動距離9万 km
キョクアジサシのキョクは北極・南極の極でその名の
とおり北極～南極を毎年移動します。この鳥は30歳
まで生きるそうで、一生に地球と月の間を3往復
270万 kmを旅することになります。



○アデリーペンギン 移動距離1万3千 km
ペンギンのような飛ばない鳥も渡りをします。
冬の間（南極の冬）繁殖コロニーからオキアミを食べる
ため凍っていない海岸線まで延々と歩いていくのです。
お疲れ様です！！



野鳥観察クイズ 解答

鳥の渡り※1

渡り鳥と言ったら、どんな鳥が頭に浮かびますか？

おそらく、春夏にはツバメ、秋冬にはカモや白鳥などを頭に浮かべる人が多いのではないのでしょうか。

それでは、鳥は「何故」渡りをするのでしょうか。

「どこからどこへ」「何時」「なんのために」などを問題に答えながら考えてみましょう。

日本の野鳥は「留鳥」「漂鳥」「夏鳥」「冬鳥」の4つに分類されています。

問題1：下記の①～④までの文章に当てはまるものを上の四つの分類から選び

() に記入してください。右の図※1も参考にしてください。

①日本国内を季節によって移動する鳥。(漂鳥)

②秋に北の国から日本に渡って越冬し、春に北の国へ

帰って繁殖をする。(冬鳥)

③春から初夏にかけて日本で繁殖するために南の国から渡ってきて、秋に越冬のために南の国に帰る鳥。(夏鳥)

④一年中、ほとんど同じ場所で生活する鳥。

夏は山や北国で繁殖し秋や冬になると平地や南の地域へ移動し冬を過ごす。(留鳥)

問題2：下記の文章の()の中に「留鳥」「漂鳥」「夏鳥」「冬鳥」の4つのどれかを当てはめて記入してください。

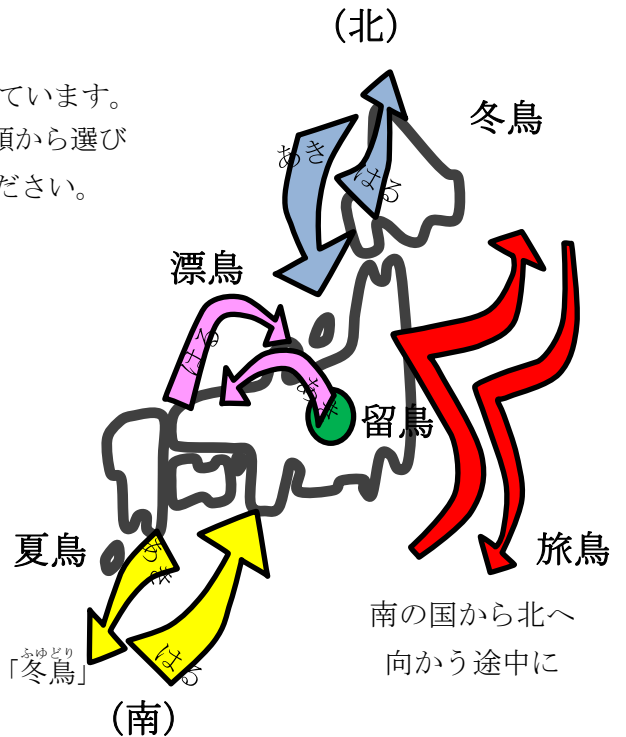
野鳥は基本的に、春には北の生まれ故郷に戻って繁殖し秋には南の越冬地へ移動します。

移動範囲が狭いと(漂鳥)で、広いと(夏鳥)(冬鳥)と呼びます。

(留鳥)も、繁殖期と越冬期で過ごす場所が違いますから鳥は“渡り”をするということなのです。

※1

鳥の渡り
季節に合わせて鳥が遠距離を移動すること



まとめてみると

○渡り鳥は南北方向に移動をする。

○春夏は北で子育てをし、秋冬は南で過ごす。

○「留鳥」「漂鳥」「夏鳥」「冬鳥」が季節に合わせて移動している。

それではなぜ鳥は「渡り」をするのでしょうか。

ここで、皆さんの身近な鳥で説明しましょう。

ハトやスズメは冬になっても見つけられる種子を食べています。

でもツバメは昆虫を食べるし、タカの仲間のサシバは昆虫やカエルなどを食べています。それらの食べ物は秋冬には少なくなるから、秋冬には南へ渡るのです。

また日本で秋冬を過ごすカモや白鳥はどうして春夏にシベリアに戻るのでしょうか。

シベリアも春夏になると動植物がたくさん出て豊富なエサがあり、競争相手も少ないため北に移動し繁殖をします。

つまり、秋冬は南、春夏は北のほうがエサが取りやすいことになる。

例えば夏鳥は初夏昆虫が繁殖をする日本にエサを求めて渡って来ます。春夏のシーズンは夏鳥は日本で、冬鳥はシベリア方面でそれぞれ豊富なエサを得て、繁殖し子育てをします。

**鳥が渡りをする理由は
生活しやすい環境に移動し
豊富なエサを得て、繁殖を行うためだったのです。**

問題3：夏鳥と冬鳥の繁殖地は異なります。

上記の文章を参考に下記の問題の（ ）に答えを記入してください。

- ①夏鳥の生まれ故郷は（日本 ） その繁殖の季節は（春夏 ）
②冬鳥の生まれ故郷は（シベリアなど） その繁殖の季節は（春夏 ）

まとめ

鳥は渡りすることによってより過ごしや環境で、豊富なエサを得て繁殖し子育てをしています。

日本では夏鳥・冬鳥・留鳥・漂鳥が季節によって、南へ北へ移動し四季を通して色々な鳥たちが、私たちの目や耳をたのませてくれます。季節ごとにどんな鳥がやって来るのかを調べておくと、より楽しい野鳥観察ができると思います。